

人間関係について

菊組 K.O.

今回の感話の題は「自由」なので、私は人間関係について考えたいと思います。

今回人間関係について考えようと思ったのは、夏休みの宿題で、祖母にインタビューをしたことがきっかけでした。そのインタビューで様々なことを聞きましたが、終わった後で質問にふくまれていた嬉しかったこと、悲しかったことについての祖母の答えを見て、ある事に気づきました。それはどちらも人との関係のことだったことです。私はこの結果を見て人間関係の大切さを改めて感じました。またそれと同時に、人との関わりを大事にしていきたいと思いました。

祖母はインタビューの中で、うれしかったことは子供が産まれたこと、結婚したことだと言っていました。結婚のように誰かに出会うというのは人間関係のもつようなものです。他人と関わりを持つことでもう、人間関係ははじまります。また、結婚をすることは人間関係をより広くするものでもあります。家族が増えるからです。家族は人にとって一番近い存在です。また、子供が産まれるということも同じで、人間関係を成長させるものです。命の誕生というのは、人々に幸せをもたらし、そして何より、親子関係という重要な関係のはじまりです。人間関係を持つ者が増えると、それに比例して人間関係も広く、深くなっていくのだなと思いました。

また、悲しかったことは両親が死んでしまったことだと言っていました。人は死んでしまっただけでもう動きません。また、呼びかけても返事は返ってこないし、一緒に話すこともできません。つまり「死」は人間関係を壊してしまいます。「死」というものはいつ訪れるかわからないものです。私は実際に身近な人の死というものを体験したことがありませんが、ニュースなどで死亡事故を見て、「死」のこわさが分かります。人がもろいのも同じで、人との関係も弱いものなのだなと思いました。

人間関係は、相手や自分が生きている間でしか作ることができません。また、「死」がいつ訪れるかは分かりません。私はどの人間関係も、放棄しないことが大事だと思いました。人と関わるのを諦めてしまっただけでは、その人はほとんど一人で生きるしか無くなってしまいます。「人」という漢字は人と人が支えあっている形だと聞いたことがあります。まさにそれだと思います。人との関わりがあっただけでその人間なのだなと思いました。

それと同時に、人間関係が感情と共にあることにも気づきました。命のはじまりである誕生は、人々を喜ばせますが、終わりである「死」は人々を悲しませます。誕生は人間関係の始まりであり、死は終わりです。つまり人間関係と感情は共にあるのだと思いました。

ここまで、人間関係について考えてきました。人間関係が大事だと言いましたが、どのようにすることを大事にするというのでしょうか。私は関係を壊さないように安定させること、大切にすること、悔いのないようにすること、そしてなにより、相手を思うことを忘れないことだと思います。

今回、人間関係について考えて、いろいろな事に気づきました。これからも人との関係

を大切にしたいと思いました。人間関係について考えることはこれからもあると思いますが、今回考えた事を忘れずに、悔いのないよう安定した人間関係を築きあげていきたいと思いました。